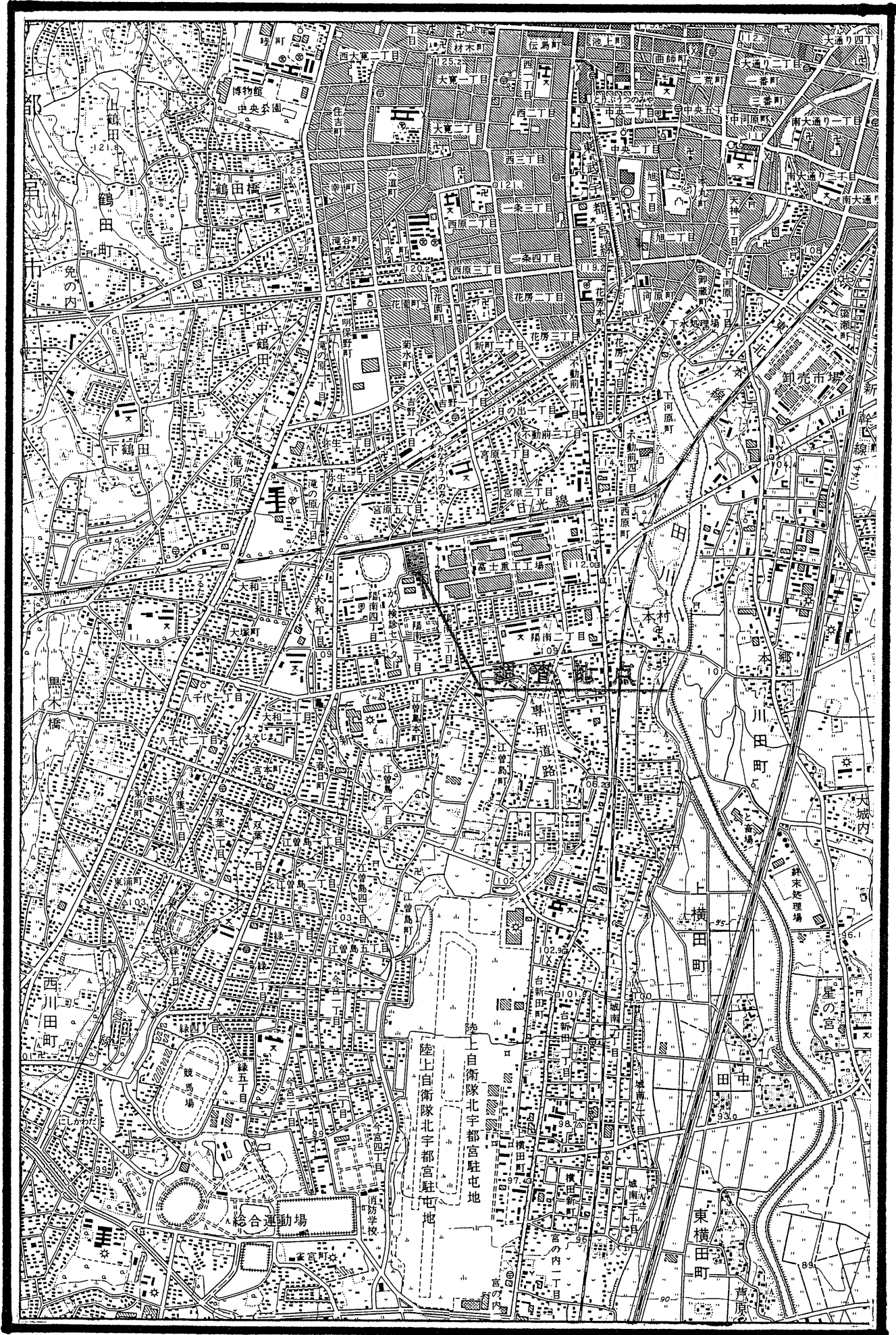


調査位置図 縮尺 S=1:25,000



ボーリング柱状図

調査名 宮原市営住宅立替工事に伴う地質調査

ボーリングNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	2 ~ 1 孔		調査位置	宇都宮市陽南4丁目地内						北緯		
発注機関	宇都宮市役所			調査期間	平成 2年 9月22日 ~ 2年 9月24日				東経			
調査業者名	日本測地株式会社 電話(0285-84-5355)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	-0.06m	角	180° 上 90° 下	方	北 270° 西 180° 南 東	地盤公配	鉛直	水平	使用機種	K R - 5 0	ハンマー 落下用具	ポンプ
総掘進長	10.45m	度		向					エンジン			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	採取 深 度 (m)	採取 番号	採取 方法	掘進 月 日
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
1	0.70	0.70	△△△△	表土 ローム	暗褐色			均質な層相を呈したシルト、 耕作土 火山灰質粘性土 シルト質を呈した均質な層相を呈する	1.15	1	2	4/30	4		1.15	1	○	
2	1.80	1.80	△△△△	軽石	黄褐色	緩い		粒径φ2~5mm 比較的均一な粒度分布を呈する	2.15	1/20	1/17	2/37	2		2.15	2	○	
3	1.25	3.05	△△△△	ローム	茶褐色		軟らかい	少量の有機物を含む やや不均質な層相を呈する 深度4.6m付近より砂質となる	2.52	1/30	1/30	1/30	1		2.52	3	○	
4	1.75	4.80	△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり	粒径Maxφ100mm内外の大礫を介在し、φ10~50mmの垂円礫を介在し、 基質部は粗粒砂に等置される ルーズな層相を呈し固結度は低い 礫種は、チャート・粘板岩・石英斑岩・流紋岩・安山岩などで構成される (段丘礫層)	3.15	1/30	1/30	3/30	3		3.15	4	○	
5			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		4.45	1	1	3/30	3		4.45	5	○	
6			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		5.15	12	14	40/30	40		5.15	6	○	
7			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		5.45	16	18	50/30	50		5.45	7	○	9/22
8			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		6.15	16	18	50/30	50		6.15	8	○	
9			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		6.45	17	16	50/30	50		6.45	9	○	
10	5.65	10.45	△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		7.15	7	8	25/30	25		7.15	10	○	9/24
	5.65	10.45	△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		8.15	7	8	25/30	25		8.15			
			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		8.45	12	13	38/30	38		8.45			
			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		9.15	20	25	50/30	50		9.15			
			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		9.45	20	25	50/30	50		9.45			
			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		10.15	20	25	50/30	50		10.15			
			△△△△	砂	灰褐色		密なり 中位 密なり		10.45	20	25	50/30	50		10.45			